

特別委員会報告

- ◇北上川治水対策特別委員会
- ◇競馬事業調査特別委員会
- ◇地域医療調査特別委員会
- ◇岩手・宮城内陸地震等被害調査特別委員会

北上川治水対策特別委員会

北上川治水対策特別委員会は、6月19日に国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所副所長、岩手河川国道事務所水沢出張所長、都市整備部長及び土木課長等の出席を求め、国の平成21年度補正予算による奥州市内の北上川上流改修事業の概要について説明を受けました。

奥州市域では、継続事業として一関遊水地建設事業、新規事業としては、吹張地区築堤、二渡地区築堤、赤生津地区治水対策、稲瀬



国土交通省から事業説明を受ける北上川治水対策特別委員会

地区堤防質的整備の計5件でありました。さらに現状把握のため、前沢区赤生津地区と、江刺区稲瀬地区の2か所の現地視察を行いました。

北上川の治水対策については、引き続き今後の工事の進捗状況、現状調査のほか、関係団体の要望事項や治水対策への方針等の調査を行い、関係者間の共通認識を高めることが必要であることから、今後継続して調査することとしました。

競馬事業調査特別委員会

競馬事業調査特別委員会は、6月18日に委員会を開催し、市長、副市長及び担当職員のほか、県競馬組合から4月に着任された藤尾常勤副管理者等の出席を求め、質疑を中心として調査しました。



※ 県立産業技術短期大学の学生による岩手競馬ポスターデザイン
これは、優秀賞の細目 永さんの作品です。
将棋の駒を馬に、重ねた駒をゴール板に見立てている点、「金に成る」という将棋のルールを盛り込んだアイデアが大変ユニークです。

最初に競馬組合から、平成20年度決算見込みと平成21年度の運営状況について説明を受けました。
平成20年度の経常損益は4千8百万円の黒字を達成する見込みです。また、平成21年度の発売状況は、6月8日現在計画比で1億1千4百万円減の97・7%、対前年度比で99・4%です。競馬組合は、今日の経済不況の下、対前年比で微減ということは「健闘している」と評価しているようです。競馬組合からは「もつとオモシロいことになってきた！岩手競馬」をキャッチフレーズに、今後も引き続き努力する決意が述べられました。

会議では、宮古・釜石場外の委託業者が競馬組合に対し未払い金を残したまま撤退した問題や、東北映像との委託契約問題、街中場